北 海 道 浮 魚 ニ ュ ー ス

平成 27（2015）年度 9 号
2015 年 7 月 27 日

道総研水産研究本部　函館水産試験場
ホームページ：http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html

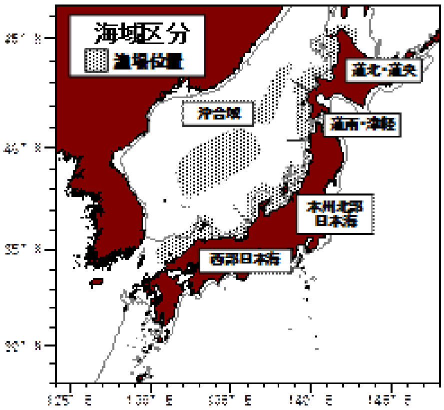
◎第２回日本海スルメイカ長期漁況予報発表される

７月27日、水産総合研究センターより第２回日本海スルメイカ長期漁況予報が発表されたので概要をお知らせします。今回は日本海全域を対象とした漁期後半（８～12月）の予報です。

なお、この予報は国及び日本海側道府県の水産研究機関が参画し、日本海区水産研究所がとりまとめを行いました。予報文の全文は以下のホームページでご覧になれます。

水産総合研究センター（http://www.fra.affrc.go.jp/）
日本海区水産研究所（http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/）

今後の見通し（2015年８～12月）



対象魚種：スルメイカ
対象海域：日本海（道北・道央、道南・津軽、本州北部日本海、西部日本海、沖合域）
対象漁業：主にいか釣り漁業・小型いか釣り漁業
対象魚群：秋季発生系群、後半は冬季発生系群も含む

（1）来遊量：前年及び近年平均を下回る。道南・津軽では、漁期後半に12月の漁獲量が多かった前年を下回るものの、近年平均並みに回復する。

（2）漁期・漁場：道北・道央は道北で低調。
道南・津軽は10月以降は近年平均並みに回復するものの、前年を下回る。
本州北部日本海及び西部日本海では近年同様に好漁場が形成されにくい。
沖合域では、8 月～ 9 月は道北沖、11 月以降は大和堆周辺海域に漁場が形成される。

※前年は2014年、近年は過去５年（2010～2014年）のことです。

・６月下旬～７月上旬に実施した日本海漁場一斉調査（函館水試調査分は浮魚ニュース第６号参照）で全国の資源量指数が前年及び近年平均を下回ったことから、来遊量は「前年及び近年平均を下回る」と予想されました。
・魚体サイズは、日本海漁場一斉調査から得られた海域全体の外套長組成では、おおむね近年平均並みでした。

（函館水産試験場調査研究部　TEL：0138-83-2893、FAX：0138-83-2849）